

## 光化学オキシダントの測定結果（平成27年度）

光化学オキシダントは、窒素酸化物や炭化水素類が紫外線を受けて光化学反応を起こし、二次的に生成される酸化性物質で、光化学大気汚染（いわゆる光化学スモッグ）の原因物質とされ、その発生は気温、風向、風速、日射量等の気象条件に大きく左右されます。

平成27年度に、光化学オキシダントについて12測定局で測定した結果は、下表のとおりであり、いずれの測定局においても環境基準を達成できませんでした。

昼間（午前5時から午後8時まで）の1時間値の最高値が最も高かったのは、美濃加茂測定局の0.133ppm でした。

なお、「岐阜県大気汚染対策要綱」に基づく光化学スモッグ注意報の発令は、ありませんでした。

地域	測定局名	昼間測定日数 (日)	昼間測定時間 (時間)	昼間年平均値 (ppm)	昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた時間数 とその割合		昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた日数と その割合		昼間の 1時間値 の最高値 (ppm)	日最高 1時間値 の年平均 (ppm)	環境基準 の適否 ○否×	平成26年度	
					時間	%	日	%				昼間 年平均値 (ppm)	環境基準 の適否
岐阜	岐阜中央	365	5376	0.034	75	20.5	371	6.9	0.110	0.048	×	0.036	×
	岐阜南部	366	5435	0.033	84	23.0	441	8.1	0.110	0.048	×	0.035	×
	岐阜北部	366	5418	0.034	91	24.9	466	8.6	0.117	0.050	×	0.036	×
	各務原	366	5446	0.035	93	25.4	510	9.4	0.119	0.050	×	0.035	×
	平均			0.034								0.036	
西濃・羽島	羽島	366	5430	0.034	92	25.1	427	7.9	0.107	0.050	×	0.033	×
	大垣中央	356	5232	0.035	79	22.2	377	7.2	0.108	0.048	×	0.032	×
	大垣南部	366	5431	0.035	91	24.9	458	8.4	0.107	0.049	×	0.035	×
	平均			0.035								0.034	
可茂	美濃加茂	366	5418	0.034	99	27.0	573	10.6	0.133	0.051	×	0.034	×
東濃西部	笠原	365	5398	0.030	76	20.8	334	6.2	0.112	0.046	×	0.030	×
恵那・中津川	中津川	353	5231	0.032	85	24.1	493	9.4	0.110	0.050	×	0.031	×
飛騨	高山	338	5004	0.032	49	14.5	304	6.1	0.089	0.045	×	0.032	×
乗鞍		282	4189	0.043	31	11.0	160	3.8	0.078	0.049	非適用	0.039	非適用
県平均				0.033								0.034	

備考) 1 県環境管理課調べ

2 昼間は、午前5時から午後8時までを示す

3 環境基準に適合しているとは、1時間値が0.06ppm以下(0.06ppmを超えた時間数がゼロ)であることを示す

4 県平均に、乗鞍測定局は含まない